

兵庫県 の 地震 活動

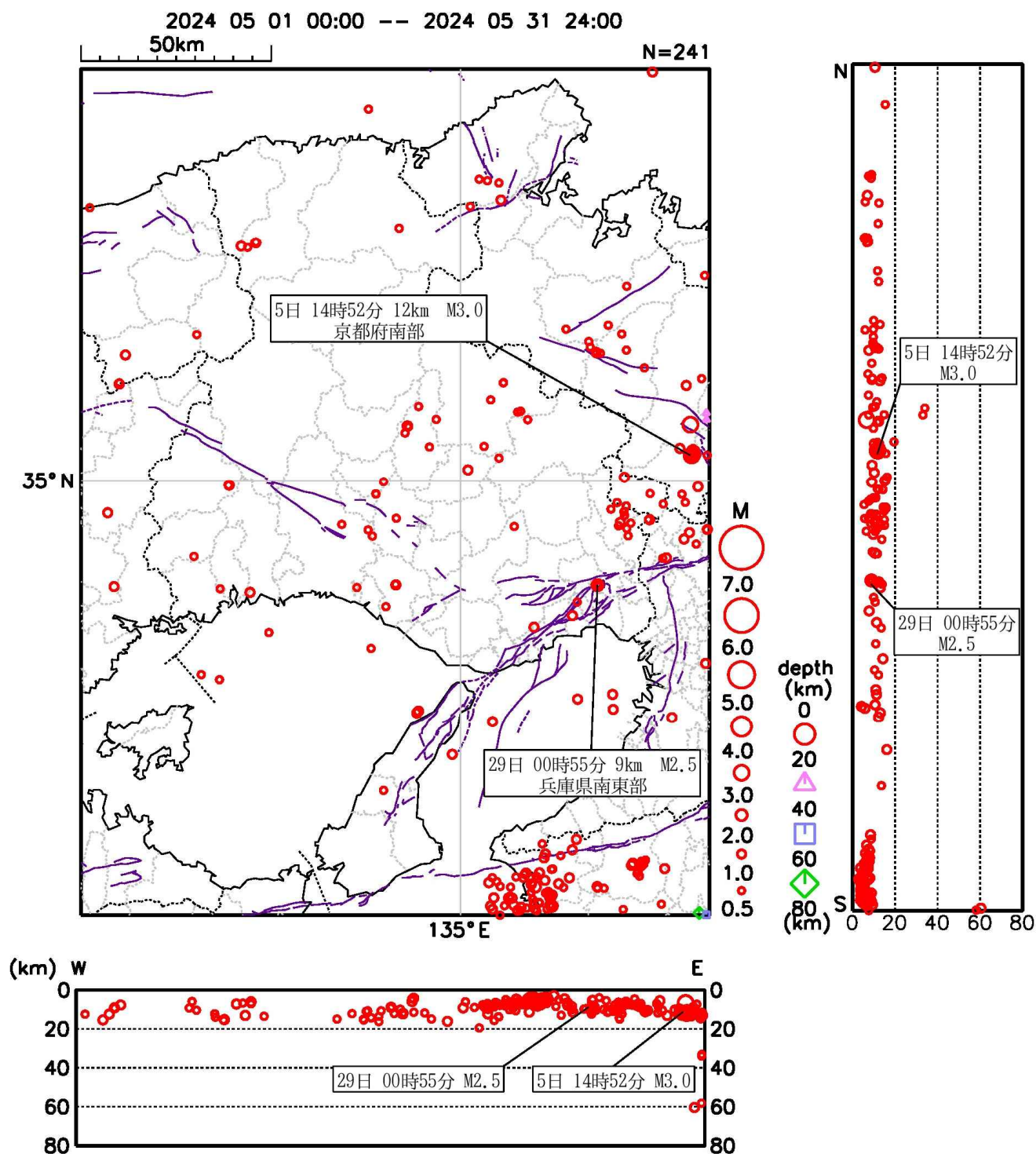
2024 年（令和 6 年） 5 月

震央分布図・断面図・・・・・・・・・・・・・・・・	1
概況・・・・・・・・・・・・・・・・	2
兵庫県で震度 1 以上を観測した地震一覧表・・・・・・・・	2
兵庫県で震度 1 以上を観測した地震の震度分布図・・・・・・・・	3
一口メモ	
津波フラッグを知っておこう・・・・・・・・	4

- * 「兵庫県の地震活動」は月 1 回発行し、兵庫県内の地震活動状況をお知らせするとともに、社会的に関心の高い地震について適宜解説を行います。また、「一口メモ」で地震防災等の知識普及に努め、皆様のお役に立てることを目的としています。
- * この資料の震源要素及び震度データは、再調査されたあと修正されることがあります。
- * 本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。
- * また、2016 年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022 年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

神戸地方気象台

震央分布図・断面図



左上：震央分布図 右上：東から見た断面図 左下：南から見た断面図
注) 分布図の紫線は、地震調査研究推進本部による主要活断層帯を示す。

概 況

―― 5 月の概況――

今期間、兵庫県内では震度 1 以上の地震を 2 回観測しました。

5 日 14 時 52 分 京都府南部の地震（深さ 12km、M3.0）により、三田市で震度 1 を観測しました。

29 日 00 時 55 分 兵庫県南東部の地震（深さ 9km、M2.5）により、西宮市で震度 1 を観測しました。

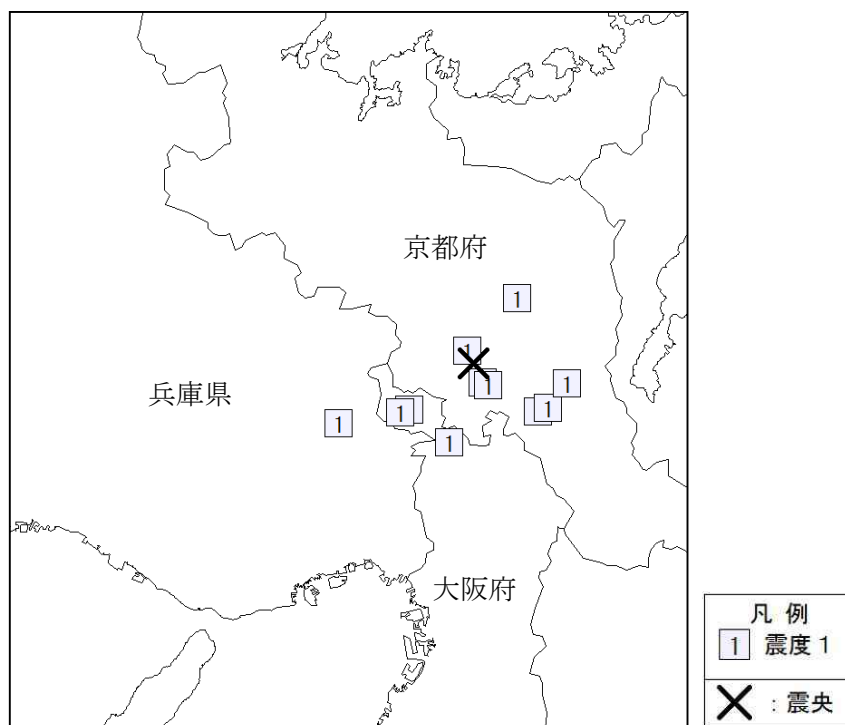
兵庫県で震度 1 以上を観測した地震一覧表

地震発生日時	震央地名	北緯	東経	深さ	マグニチュード*	全国最大震度
各地の震度（兵庫県内）						
5 月 5 日 14 時 52 分	京都府南部	35 ° 02.9'	135 ° 32.6'	12km	M3.0	震度 1
震度 1：三田市下里*						
5 月 29 日 00 時 55 分	兵庫県南東部	34 ° 47.8'	135 ° 19.3'	9km	M2.5	震度 1
震度 1：西宮市平木*						

震源要素は、後日修正される場合があります。確定値は「地震・火山月報（カタログ編）」に掲載されます。
 なお、*印は気象庁以外の地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。

兵庫県で震度 1 以上を観測した地震の震度分布図

5 月 5 日 14 時 52 分に発生した、京都府南部の地震による震度分布図（観測点震度）。×印は震央を表す。



5 月 29 日 0 時 55 分に発生した、兵庫県南東部の地震による震度分布図（観測点震度）。×印は震央を表す。



一口メモ

津波フラッグを知っておこう

夏も近くなり皆さん海に行かれる機会があるかもしれません。そのような時に改めて意識していただきたいのが津波から身を守るための行動です。今回は「津波フラッグ」について説明します。

「津波フラッグ」は大津波警報、津波警報、津波注意報（以下、「津波警報等」という）が発表されたことをお知らせする旗です。津波警報等は、テレビやラジオ、携帯電話やスマートフォン、サイレン、鐘等、様々な手段で伝達されますが、令和2年6月から海水浴場等で「津波フラッグ」による視覚的伝達の取り組みが始まりました。「津波フラッグ」を用いることで、耳の不自由な方や、波音や風で音が聞き取りにくい遊泳中の方、日本語が聞き取れない外国人の旅行者等にも津波警報等の発表をお知らせできます。海水浴場や海岸付近で津波フラッグを見かけたら、速やかに避難を開始してください。

○いつ使われる？

- ・津波警報等が発表されたら、ライフセーバーや監視員等が津波フラッグを振って知らせます。近くの建物などに掲げられることもあります。

○どこで使われる？

- ・海水浴場等で使われます。サイレンや防災無線、広報車等による音での伝達も行われますが、波音や風で音が聞き取りづらいため、津波フラッグで視覚的に伝達します。

○見かけたら？

- ・すぐに海から上がり、海岸から離れて高いところに避難してください。津波警報等が解除されるまでは決して海には近づかないでください。

津波フラッグはすべての海水浴場で導入されているわけではありません。また導入されていても津波フラッグを振る人の安全が確保されない場合は津波フラッグを振らないこともあります。そのため海岸付近で津波警報等の発表を見聞きしたり、強い揺れを感じたり、長くゆっくりとした揺れを感じた場合は速やかに海から離れて避難するようにしてください。



(参考)

気象庁ホームページ「津波フラッグ」

https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/tsunami_bosai/tsunami_bosai_p2.html

気象庁ホームページ「津波から身を守るために」

https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/tsunami_bosai/index.html



津波フラッグ



津波から身を守るために